

作・ほら

## 石焼き芋ラリークロス

事故で引退した元ラリーのコ・ドライバーが、  
石焼き芋屋に転身して、雪山で事件に巻き込  
まれた妻と子供を助け出す

もともと軽6号  
2つあることか。  
中心の2つを4つにしていよいよ  
この流れで軽4号で走り出しがちか?  
軽4号で走り出しがちか?

以下参考人物には印

登場人物表

光吉 サトル（40） 元ラリーのコ・ドライバー。今は無職。

明美（38） 悟の妻  
たくや（5） 悟と明美の息子

ノリさん（59） ベテラン石焼き芋屋さん。

たてこもり犯  
警察官たち

学生たち

ドライバー

銀ちゃん（50代） ノリさんの友人

○林道・猛吹雪

手席に乗ったラリーカーがうねる道を  
爆走している。サトルは行程が書かれ  
たペースブックを手に、無線でナビゲ  
ーションしている。

サトル「L3、40すぐR2、キープ120、  
そのあとリバース」1：違  
待つて！ロスト！ストップ！ストップ！  
ドライバー「間に合わない！」

○公園・昼

サトル「うわあ！」  
スーツにマフラー姿のサトルがベンチで飛び起きる。汗びっしょり。目の前に現れたのは焼き芋屋のおっさん（5）  
焼き芋を差し出す。  
おっさん「大丈夫か。芋食うか」

ベンチに並んで話しているサトルとおっさん。脇には焼き芋屋のトラック。サトルは焼き芋を食べている。

サトル「よく無事だつたな」

サトル「幸い僕もドライバーも怪我ですみましたが、2人ともそれで引退です」

おっさん「今は何やつてんだ」

サトル「ドライバーはいまは解説です。私は事故以来ちよつとしたことでパニックになつてしまふ有様で、次の仕事も決まらずで」

おっさん「それで毎日ここにいたわけだ」

サトル「妻と息子は会社勤めだと信じてます」

おっさん「金は大丈夫なのか」

サトル「焼き芋買うくらいはまだあります。あ、お金」

3

○石焼き芋軽トラ車内

ノリさんの焼き芋軽トラのところにツ  
ナギ姿で帽子と首にタオル、軍手を  
はめたサトルが現れる。

ノリさん「どうぞどうした」

サトル、大きく頭を下げ

サトル「バイトとして、雇つていただけない  
でしようか」

ノリさん「おいおい、頭上げろつて」

サトル「お願ひします！助手席は慣れてます  
ので」

ノリさん「あいにくバイトは必要ない」

サトル「そんな」

ノリさん「ただし。本気なら、おれがお前さ  
んを立派な石焼き芋屋にしてやる」

敵地を攻め  
向ひ決意したつか？  
あとにしやべる事ないぞ。  
補完しおうとしますが。  
行なう事いじり合はしてみます。

○サトルのマンショն・夕刻

薄暗くひと気のないビングルのテーブルの前で、サトルが立ち尽くしている。焼き芋の袋が床に落ちる。手に持つメモにはしばらく琢也と実家にいます。明美」。その場で肩を落とすサトル。

財布から金を出そうとするサトルをとめておっさんが言う。

おっさん「いいんだ。あとこれ、嫁さんと息子さんに」

おっさんは焼き芋を2つくれる。

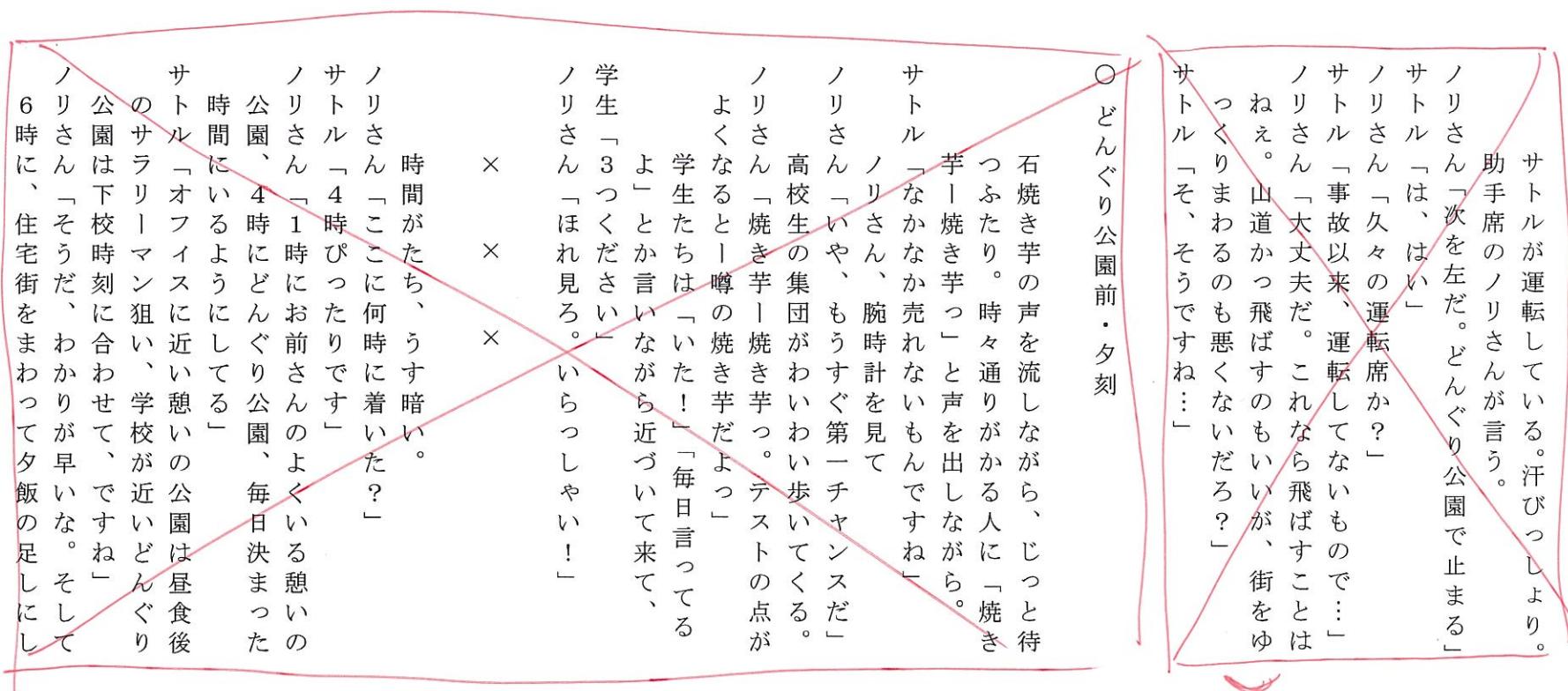
サトル「おじさん」

おっさん「ノリだ。毒島則武」

サトル「ノリさん、ありがとうございます」

窓から出した手でサムズアップして、ノリさんは軽トラで去って行く。

トライック「いーしやーきいもー」





$\approx 7.2 \times 10^3$

○ 軽トラがとめてあるノリさんの家・夜

○ 同・客間

ちやぶ台にコンビニつまみを並べて1杯やりそうなサトルとノリさん。ノリさんは奥さんの仏壇にビールをそなえながら言う。

ノリさん「それで2人はスノボ行つちまたつてのか。お前さんも行きやよかつたのに」

サトル「嬬恋つて：事故つたところなんです」

ノリさん「そうなのか：まあでも、息子が寄

ベンチに座つて、サトル、明美が焼き芋を手に話している。たくやをあやしながら軽トラから遠目に見るノリさん。

サトル「どうだ、うまいか」

明美「おいしいけど：意味がわかならい」

サトル「とにかく働くないとと思ってさ…」

明美「働いてないのが嫌だつたんじやないつて。嘘つかれてたのがショックだつたの」

サトル「お前だつて実家だなんて嘘ついて」

明美「嘘じやない。今夜からスノボ連れてくから、ボーダだけ取りに来たの」

ノリさん「まあおれよりうまくつくるのは、  
難しいだろうけどな」

サトル「はははは」

ノリさん「嫁さんは電話したのか？」

サトル「直留守です。LINEも既読スルー」

ノリさん「らいん？」

そこに突然、たくやが現れる。

たくや「パパ！ 今度は焼き芋屋さんになつた  
の？」

サトル「たくや！ 嫁恋のばあちゃんちじやな  
いのか？ ママは？」

たくや「あっち！」

軽トラのところに明美がいる。目が点。

レタス段取り。  
「今度来い」

つてくるなんて今のうちだぞ」

サトル「ノリさんの息子さんは何を?」

ノリさん「何やつてんだかな。電話もよこさ

ねえ。煙も焼き芋もついでくれなかつたよ」

サトル「そ、うなんですか?」

ノリさん「ちようど跡継ぎか欲しかつたところだから、お前さんが来て正直助かつて」

今日はたっぷり飲んでくれ」

瓶ビールをつごうとしたノリさんの手

が止まる。テレビに釘付けだ。

テレビ「今入ったニュースをお伝えします。

群馬県嬬恋村の山荘で、男が客を人質に立てこもつているとのことです。現在判明し

ている人質は、この山荘に泊まる

光吉明美さん38歳、光吉琢也くん5歳…」

ノリさん「おい、これ…」

サトル「明美：たくや：」

テレビ「現在山荘周辺は悪天候のため警察車両も近づく事ができず、人質の安否が心配されています」

サトル「助けに行かなきや」

ノリさん「俺も行く」

即「助けにいく」と先に行動すること

「友くわん」とおもふ

「友くわん」の意味

○ 走行中の軽トラ

運転するノリさん、助手席のサトル。

サトル「ノリさん、うちに寄れませんか」

ノリさん「いいけど、どうしてだ?」

○ サトルのマンション

サトルが急いでものを探している。  
サトル「ペースノート、ペースノート：あつた!」

引き出しからノートを見つける。

もたついてる甲分。  
サトル「助けに運びます」  
(同じコースでもなし)

○ 嬌恋・山の麓の対策本部・夜・猛吹雪

警察が集まっているなか、サトルとノリさんが地図を指差して警察に説明し

ている。

警察官 「ご協力、感謝します」

対策本部に初老の男性がやつてくる。

男性 「ノリちゃん！ できたぞ！」

ノリさん 「おう！ すまんな銀ちゃん」

### ○ 同・外・猛吹雪

ノリさんの焼き芋屋の軽トラのタイヤ  
が4つすべてキャタピラに変えられて  
いる。ノリさんが運転席、サトルが助  
手席に、マイク付ヘルメットをかぶつ  
て乗り込む。銀さんが声をかける。

銀さん 「さあ、いつてこい」

ノリさん 「銀ちゃん、助かつたぜ」

サトル 「ありがとうございます」

ノリさん 「さあ、最高に危ない出張販売だ。頼んだぜ、コ・ドライバーさんよ」

サトル 「はい」

ノリさん 「(無線をとつて)では警察の皆さん、コ・ドライバーのナビゲーションは無線で中継致しますので、私たちにぴったりくつ

ついて来てください」

警察車両が後ろに続いている。ドライバー次々と無線で「了解」「了解」

ノリさん 「いいぞ。大丈夫か」

サトルはペースノートを持つて深呼吸。

サトル 「大丈夫です。熱処理は終わりました」

ノリさん 「ははは、割れるんじやねえぞ」

サトル 「はい。10秒前、9、8、⋮」

サトル 「5秒前、4、3、2、1、スタート」

ノリさん 「おらああああ！」

エンジンをフル回転させ、キャタピラ式焼き芋軽トラックが走り出す。

サトル 「キープ300、そのあとゆるい左

ノリさん 「おう！」

ノリさんがスピードカーのスイッチを入れる。いしやーきいもー♪の音色を響かせながら、焼き芋軽トラと警察車

ラストのオチを前に、  
7-17で青色再生いたた  
バターンとした。

銀ちゃんは改造を無限なく  
見えなくにしたよ。ついでに  
スケーリングにしてもいい。  
全けぬくとよく見える。

両が雪山に消えて行く。

C 軽トランク内

サトル「ややきつい左、キープ40す  
ぐきつい右、キープ120、そのあと…」  
ノリさん「そのあとなんだ！」

サトル（回想）「そのあと…リバース』1…違うう、R? ちょっと待って！ ロスト！ ストップ！ ストップ！」

サトル「ちよつと右のあときつつい左！」  
ノリさん「よしきた！」

○ 林道・夜・猛吹雪

石焼き芋軽トラと警察車両の列が雪道を爆走していく。

○山莊・1階テラス・猛吹雪

椅子に縛り付けられている明美、たく  
や。凍えてぐつたり。明美が中に叫ぶ。  
お願いします！この子だけでも暖をと  
てください！」

明美「お願いします！この子だけでも暖をと  
らせてください！」

建物の中のたてこもり犯が銃を持つて  
答える。

たてこもり犯「だめだ！お前らが凍え死ぬの  
がタイムリミットだからなー」

明美「そんな：たくや：大丈夫だからね」

たくや「ママ：パパの焼き芋がたべたい」

明美「わかつたよ、絶対に助かって、帰つた  
ら一緒に食べようね」

たくや「ママ：パパが来てくれたよ」

明美「なに言つてるの。たくやしつかりし

10

二二が一系のヤマリノズ  
ノムルモノ。

狼は連れ戻す  
全員いるべき  
もとのタイヤに戻った軽トラに乗った  
ノリさんとサトル。並んだ乗用車に明  
美とたくや。軽トラ助手席のサトル、  
乗用車の運転席の明美に焼き芋の袋を  
渡す。  
サトル「これ、帰り道に」  
明美「ありがとう」

○ 数日後・対策本部・昼・晴

明美たちにも聞こえてくる、石焼き芋屋のメロディ。近づいて来て、山荘の目の前で止まる、軽トラと警察車両。

たくや 「パパ！」

サトル 「たくや！ 明美！」

サトルとノリさんが降りて来て、たくやと明美に駆け寄る。警察官たちは一部3人の拘束を解き、一部山荘に突入していく。

警察官たち 「突入！ 確保ーー！」

ノリさん 「よくがんばったな」

たくや 「パパ、やきいもたべたい」

サトル 「(半泣き)おう、すぐ食わせてやる」

サトル、明美とたくやをグループハグ。

たくや「ほら！ パパだよ！」

同上

たくや 「ほんとだよ、聞こえない？」

○ 山荘 1 階ロビー

たてこもり犯が耳をすます。

たてこもり犯「ん？」

遠くから聞こえてくるのは、石焼き芋  
屋のメロディ。

「：しやーきいもー、やーきたて：」

たてこもり犯「まじかよ：」

次山 ひくしませこ  
クライマクスにしたかんじ。  
元厚姫 加茂し  
同じース とのりこえ  
ミクライマクスに そよんなんら。  
のりこえと 十郎解説にしたかんじ。  
金子二三九犯 けいざいにしちくわん  
レ

○ 軽トラ車内

都合

~~ノリさん「やつとラリーしたな」~~  
~~サトル「え？」~~

ノリさん「調べたぞ。ラリーってのは、再び集まる、つて意味らしいな」

ノリさん「なんだよ。んじや、コ・ドライバーさん、ナビお願いできますか?」

サトル「はい。」のまままつすぐ：ちょうどいいペースで

いーしやーきいもー：♪

後ろに続く乗用車が、嬢恋のまっすぐな道を走っていく。

三

3

參考資料



參考資料

↑ 二三のいふは莫過に失くせ  
落ちよしに

二三十一

張之齡想像

讀者加給加治也。又、丁、七、九

実際は今更に何を言ふ事か

「こんな軽トラで走る可不可以か?

今之文加

モロコシノヒトトウ

（註）此處之「萬」字，當讀作「萬」，即「萬物」之意。

終